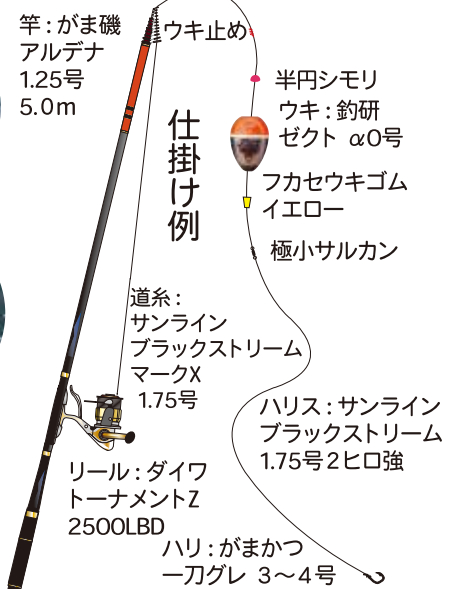
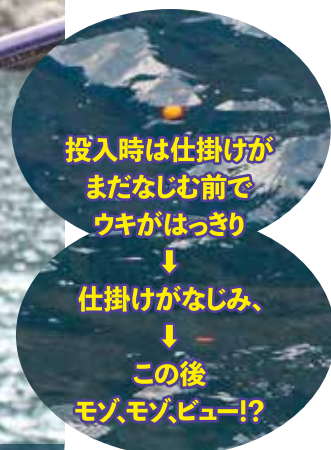


◎今日最初のクロです。
丸々いかに二重丸です〇〇

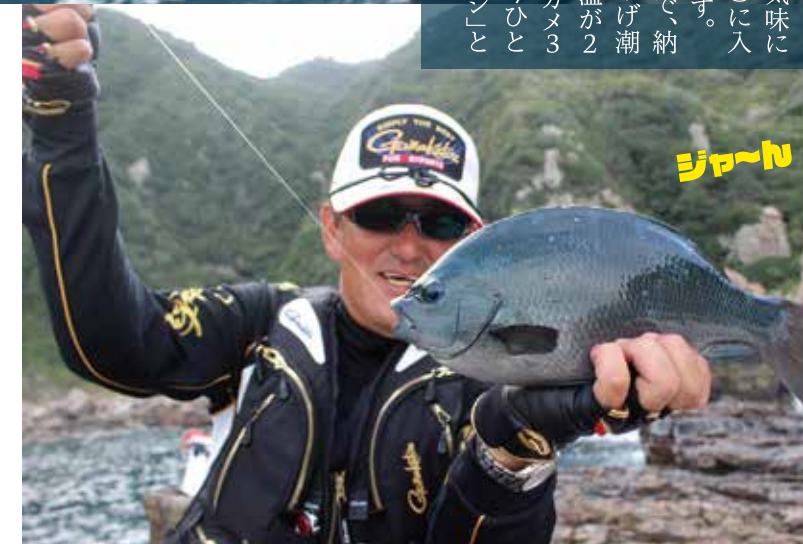


でも後が続かず…。それから2時間ほど、どうやら潮が右沖から当たってきてます。この潮なら、裏側の釣り座を使いたいのですが、ウネリの影響で波に洗われて使えません。
マキエサを打ちながら、エサ盗りを観察すると、今度は、逆に沖に出ません。そして、エサ盗りがあまり上まで上がって来ず、先ほどよりはタナは深いようです。でも、エサ盗りはさらに増えてます。
すかさず、エサ盗りの後ろ(沖側2mぐらい)に仕掛けを入れて、道糸を送らずに、張ったままウキ止めまでウキが来るように、この時は、80cmぐらい深くして、3ヒロぐらいのタナです。
すると「モゾ、モゾ、ビュー」です。エサ盗りを観察して、タナを



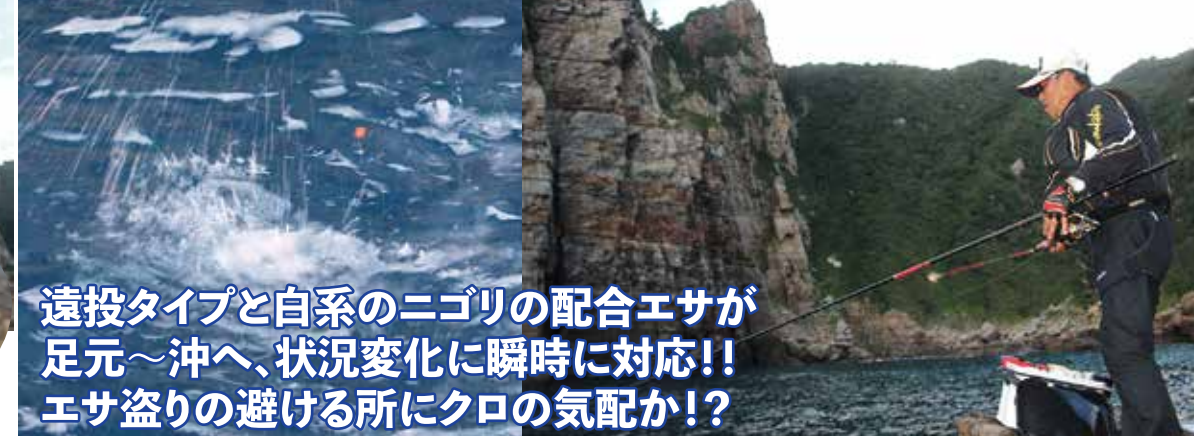
深く、そして、道糸を張り気味にして、エサ盗りの後ろ(沖側)に入れることで、出会えたクロです。
今回、クロはこの2匹だけで、納得はいかないのですが、①下げ潮の釣り座が使えない、②水温が2度ほど下がったとのこと、③カメ3匹に囲まれて、魚の活性が今ひとつだった等々を考えると「ヨシ」としましょう。

ジャーン



クロ1匹が岩の割れ目にスベって入り込み救出不可能!!「ごめんなさい」。磯での落し物には十分気をつけて下さい!!

★飯島・瀬々野浦一帯を案内される永福丸(山下船長) 薩摩川内市・川内港 携帯 090-7456-3338



遠投タイプと白系のニゴリの配合エサが足元〜沖へ、状況変化に瞬時に対応!!
エサ盗りの避ける所にクロの気配か!?

が溶けてビチャビチャになったときにサツとふりかけてやると、固めてくれます。
よく釣り師の方々に配合エサを入れるとエサ盗りが多くなつて釣りにならなくなるとか、3袋も必要ですか?と聞かれますが、エサ盗りもクロも同じ魚なので、エサ盗りが寄ると言うことは、クロも近くに来ていると判断します。そしてエサ盗りの動きをじっと見て、クロが居る所、または、タナなどを判断します。
また、配合エサ3袋と言っても種類の違うもの(私は、働きが違ふという考え方)なので、ブレンドすることで、状況変化に対応させやすい。
例えば、足元だけにマキエサを入れていたが、沖の潮に変化が出たときに、すかさず、沖の潮筋にマキエサを遠投させたり、沖に先打ちマキエサをしておいて、時間差で後から仕掛けを入れて、エサ盗りをかわす…などなど。これらが出るのは、遠投タイプと白系のニゴリが出来る配合エサを混ぜていたからで、そうでなければ、すぐに対応はできません。最低3種類を持って行って、余った持って帰って次回にとっておけば、いいですよ!

実釣

今回は、がま磯のニューロッド・アルデナの実釣企画ということ

で、飯島の瀬々野浦に永福丸さんで出かけてみました。乗礁したのは、「かみの平瀬」で、瀬々野浦エリアの奥にある磯です。この日は台風の影響で潮位が高かったため、比較的足場が良く、安全を考えてこの磯を選びました。
まず、マキエサを足元磯ギワから1〜2mにまいて、様子をうかがうと、そんなにエサ盗りは多くなく、満潮の潮止まりのようです。マキエサをまきながら仕掛け作りです。仕掛け図を参照して下さい。
釣り始めてから1時間、エサを盗られたり、残ってきたり。どうも潮が、動いているのか止まっているのかわからない。エサ盗りは少しずつ増えてきます。エサ盗りをよく観察していると、マキエサ



マルキユーの配合エサ・グレパワー-V11・V10SP・超遠投グレをそれぞれ半袋ずつ、しっかり混ぜ込みます。

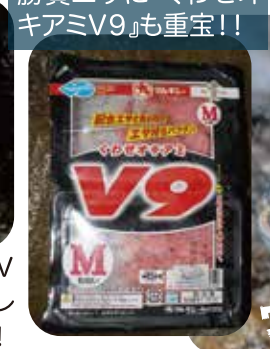


クロが喜ぶ理想のマキエサを作ろう!!

▼ここ一番という時の勝負エサに『くわせオキアミV9』も重宝!!



白系(視認性)・遠投性・集魚力のグレパワー-V10SPと超遠投グレ、食いを持続させるグレパワー-V11で、理想のマキエサへGO! GO!!



しっかりと、手前でバラケさせたり、固めて遠投もできる美味しいマキエサが出来ました!

